

平成27年第2回定例会会議録

四市複合事務組合議会

平成27年四市複合事務組合議会第2回定例会会議録

◎議事日程

平成27年8月19日（水）

午後2時開議

諸般の報告（決算等の送付、出席通知）

管理者の招集挨拶

第1 会期決定の件

第2 認定第1号 決算の認定について

第3 会議録署名議員の指名

◎本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午後2時開会

○議長（伊東幹雄議員） 出席議員数が定足数に達しておりますので、ただいまから、平成27年四市複合事務組合議会第2回定例会を開会いたします。

○議長（伊東幹雄議員） これより会議を開きます。
議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

○議長（伊東幹雄議員） この際、諸般の報告をいたします。

報告事項は、お手元に配付したとおりであります。

[諸般の報告は巻末に掲載]

○議長（伊東幹雄議員） ここで、管理者に定例会招集の挨拶をお願いいたします。

○管理者（松戸徹市長） 本日は、大変お忙しい中ご出席をいただきまして、まことにありがとうございます。

また、日ごろより四市複合事務組合の事業にご理解とご協力を頂戴しておりますことに対しまして、改め

て感謝を申し上げます。

さて、本日ここに、平成27年四市複合事務組合議会第2回定例会を招集させていただき、ご審議をお願いする案件は、平成26年度決算の認定でございます。本件は、地方自治法第233条第3項の規定に基づき、監査委員の意見を付して議会の認定に付するものでございます。内容につきましては、後ほど説明をさせていただきますが、ご審議の上、認定いただけますよう、よろしくお祈りを申し上げます。

また、第2斎場整備事業につきましては、本年6月に基本計画が完成し、現在、基本設計を作成中でございます。あわせて習志野市関係各課と調整を行いながら、都市計画決定に向けての準備作業を進めている状況でございます。なお、予定地周辺の企業、団体からは、交通の渋滞対策や安全対策等の要望書が提出されております。

本組合といたしましては、第2斎場の平成31年10月供用開始に向けまして全力で取り組んでまいる所存でございますので、議員の皆様並びに関係市の皆様には、ご理解と力強いご支援を賜りますことをお願い申し上げます。定例会招集のご挨拶にかえさせていただきます。よろしくお祈りいたします。

○議長（伊東幹雄議員） これより日程に入ります。
日程第1、会期決定の件を議題といたします。
お諮りします。

本定例会の会期は、本日1日としたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（伊東幹雄議員） 異議なしと認めます。
よって、本定例会の会期は、本日1日と決しました。

○議長（伊東幹雄議員） 日程第2、認定第1号決算の認定についてを議題といたします。

〔認定第1号は巻末に掲載〕

○議長（伊東幹雄議員） 提出者から説明を求めます。
事務局長。

○事務局長（林田豊） それでは、平成26年度四市複合事務組合決算についてご説明いたします。

決算書の3ページをごらんください。歳入歳出の予算現額13億6640万7595円に対しまして、収入済額は14億4222万9276円、収入率にいたしますと105.5%となります。なお、収入未済額41万3161円でございますが、内訳につきましては後ほど説明させていただきます。

続きまして、4ページをごらんください。歳出でございますが、支出済額は11億6618万1920円、執行率は85.3%でございます。

下の歳入から歳出を差し引いた歳入歳出差引残額は2億7604万7356円となり、平成27年度への繰越金となっております。

続きまして、9ページをお開きください。歳入歳出決算事項別明細についてご説明いたします

初めに、歳入からご説明いたします。

1款分担金及び負担金でございます。予算現額は11億3394万円でございます。収入済額は11億3803万910円で、差し引き409万910円、予算現額を上回っております。また、収入未済額41万3161円を加えた450万4071円は全て三山園の増収分でございます。

費目に従って個別に説明いたします。

1目民生費負担金は、特別養護老人ホーム三山園の介護保険法に基づく介護報酬と、関係市分賦金でありま

す三山園の施設整備に伴う組合債の償還金及び議会と事務局の運営経費の2分の1を三山園分として計上しているものでございます。予算現額5億8653万9000円に対しまして、収入済額は5億9062万9910円となり、409万910円、予算現額を上回っております。主な理由でございますが、三山園の長期及び短期の入所者が当初見込みより多くなったということでございます。なお、短期入所の延べ利用者数は25年度比4.5%、227人増加し、利用率は3.1ポイント増の71.5%となっております。

ここで、先ほど保留いたしました収入未済額につきましてご説明いたします。長期入所に係る保険負担分において、居宅介護支援事業所の国保連への報告漏れによるもので4万4642円、残りの36万8519円は短期利用に係る利用料の個人負担分が未納となっていたものでございます。いずれも既に収納済みとなっております。

10ページをごらんください。2目衛生費負担金は関係市分賦金でございます。内訳ですけれども、馬込斎場の施設整備に伴う組合債の償還金と馬込斎場の管理運営費、第2斎場整備に係る経費及び議会と事務局の運営経費の2分の1の斎場分でございます。

次に、2款使用料及び手数料でございます。これは馬込斎場の使用料収入でございます。予算現額1億2605万6000円に対しまして、収入済額は1億1951万3257円となり、654万2743円、予算を下回っております。減収の主な理由といたしまして、1節の斎場施設使用料で、火葬件数が25年度比87件、率にしまして1%増加しているものの、予算見込み件数を358件、金額で172万2900円下回ったこと。また、近年、お通夜を行わない家族葬が増加傾向にあることから、有料控室の使用が25年度比140件、率にしまして6%減少し、予算見込み件数でも156件、金額で264万9010円下回ったことなどによるものでございます。

次に、11ページ、3款財産収入でございます。これは退職手当基金の運用に伴う収入でございます。1万7212円となっております。

次に、4款寄附金でございます。こちらは三山園におきまして、ご利用者のご家族1名から1万円の寄附がございました。

次に、下の5款繰入金でございます。平成26年度にお

ける定年退職者1名、普通退職者3名の退職手当支給のために、退職手当基金から1,506万円を取り崩し、繰り入れを行ったものでございます。

次に、12ページ、6款繰越金につきましては、平成25年度からの繰越金で、予算現額8936万7595円に対しまして、収入済額は1億6458万8413円となり、予算を7522万818円上回っております。主な理由ですが、第2斎場整備費において、25年度に自然環境問題から埋蔵文化財の本調査を行わなかったこと、建設工事設計業務委託の契約差金が生じたことなどによるものでございます。

次に、7款諸収入でございます。予算現額401万8000円に対しまして、収入済額は500万9484円となり、99万1484円、予算を上回っております。増収の主な理由でございますが、1目雑入、2節雑入におきまして、全国市有物件災害共済会から三山園送迎車の自損事故による車両修繕料の保険金が入ったことが主な要因となっております。

以上が歳入の概要でございます。

続きまして、歳出についてご説明いたします。13ページをごらんください。

まず、1款議会費でございます。これは組合議会の運営に要する経費でございます。予算現額228万円に対しまして、支出済額は123万7164円、不用額は104万2836円となっております。不用額の主なものといたしまして、9節旅費におきまして、議員視察を1泊2日で計上しておりましたが、厚木、臨海斎場への日帰り視察となったことにより91万3060円不用額が生じたものでございます。

次に、14ページ、2款総務費でございます。これは特別職及び事務局職員の人件費と組合の運営経費でございます。当初予算額は1億944万8000円でしたが、給与改定などにより人件費が不足したことや、組合例規集の加除の対象ページ数が見込みを上回り、11節需用費が不足したことから、本組合が準用いたします船橋市予算会計規則第30条に基づき、予備費から9万6010円を充当し、予算現額は1億954万4010円となりました。支出については1億953万878円でございます。

次に、15ページ、3款の民生費でございます。これは

特別養護老人ホーム三山園の管理運営に係る経費でございます。民生費の予算現額4億9193万9000円に対しまして、支出済額は4億7595万8347円、不用額は1598万653円でございます。

1目老人福祉総務費の不用額755万8267円の主な理由でございますが、1節報酬におきまして、見込んでいた非常勤職員を確保できなかったことで166万5150円、年度途中の退職者が3名生じたことから2節給料、次のページの4節共済費におきまして、予算との差額が生じたことなどで合計476万4724円の不用額が生じております。なお、確保できなかった非常勤介護職員につきましては、13節委託料の中で派遣職員で対応しております。

17ページ、2目老人福祉施設費の不用額842万2386円の主な理由でございますが、11節需用費において、光熱水費や賄材料費の不用額が401万3879円、12節役務費におきまして、カーテンのクリーニングが園内設備で洗濯が可能であったため134万8875円、13節委託料で調理業務委託などの契約差金で177万6659円が不用になったものでございます。

次に、18ページ、4款衛生費でございます。これは馬込斎場の管理運営に係る経費及び第2斎場整備に係る経費でございます。当初予算額は6億3195万3000円でありましたが、第2斎場建設予定地の変更に伴い、1億1648万3000円の減額補正を行ったこと及び25年度で完了できなかった猛禽類調査業務委託などの事故繰越しが625万7595円あったことから、予算現額は5億2172万7595円となりました。予算現額に対しまして支出済額は4億7639万3309円で、不用額は4533万4286円となっております。

馬込斎場の管理運営に係る経費につきましては、1目斎場総務費と19ページの2目斎場施設費の合計額となります。予算現額は、1目の斎場総務費1億2444万1000円と2目の斎場施設費2億8085万5000円を合計しまして4億529万6000円となります。また、支出済額の合計額は3億7905万7964円となり、不用額の合計は2623万8036円となります。不用額の主な理由でございますが、19ページ、2目斎場施設費、11節需用費の燃料費、電気料、水道料などの不用額で1288万5893円、また、12節役務

費、13節委託料、15節工事請負費の3つの節の契約差金などで1093万1224円の不用額が生じております。

次に、20ページの3目第2斎場整備費でございますが、予算現額1億1643万1595円に対しまして、支出済額は9733万5345円、不用額は1909万6250円となりました。この不用額は、1節報酬におきまして、非常勤職員を雇用しなかったこと及び19節負担金補助及び交付金におきまして、関係市からの派遣職員の交代に伴うものでございます。

ここで、昨年11月の第1回臨時会以降の第2斎場整備事業の進捗状況について説明させていただきます。

平成26年11月25日の組合議会第1回臨時会におきまして、習志野市茜浜を建設予定地とする第2斎場整備事業に係る補正予算を議決していただき、平成26年12月に建設工事設計等業務、火葬炉設備選定支援業務、環境アセスに準ずる調査業務の委託契約を締結し、現在、これらの作業に取り組んでいるところでございます。

(仮称)第2斎場基本計画が本年6月に完成し、現在、基本設計の見直し作業に取り組んでおりますが、作成までもう少し時間を要する状況となっております。基本設計(案)ができ次第、議員の皆様を初め関係市、予定地周辺企業などに説明していく予定でございます。また、7月に交通量調査を実施し、現在、分析作業をしているところでございます。

今後の予定でございますが、基本計画に示しておりますが、27年度は習志野市が行う都市計画決定手続に向けた図書の作成を行い、28年度は実施設計の作成、都市計画決定後に用地の取得、29年度には建設工事に着手する予定としております。時間的に大変厳しい中ではありますが、第2斎場の31年10月供用開始に向けて事業を進めてまいります。

第2斎場の進捗状況については以上でございます。

それでは、引き続き決算の説明に戻らせていただきます。

21ページをごらんください。5款公債費は組合債の償還金でございます。支出済額は1億306万2222円でございます。内訳ですけれども、三山園の建てかえ事業分が7427万4460円、馬込斎場の火葬炉3基増設事業分が2878万7762円でございます。なお、最終償還年度は、

三山園が平成35年度、馬込斎場が平成31年度となっております。

最後に、22ページ、予備費でございます。当初予算額は2145万8000円でしたが、第2斎場建設予定地の変更に伴い、26年8月21日及び11月25日の議会におきまして補正を行いまして、3目第2斎場整備費におきまして1億1648万3000円を減額し、同額を予備費に増額しております。また、2款総務費の一般管理費におきまして9万6010円を充当したことから、予備費の予算現額は1億3784万4990円となっております。

以上の結果、歳入歳出差引残額は2億7604万7356円となりまして、平成27年度に繰り越いたしました。

以上が平成26年度歳入歳出決算事項別明細の説明でございます。

続きまして24ページ、実質収支に関する調書についてご説明いたします。歳入総額は14億4222万9000円、歳出総額は11億6618万2000円、歳入歳出差引額は2億7604万7000円、実質収支額は2億7604万7000円でございます。

次に、財産に関する調書でございます。26ページをごらんください。

1の公有財産につきましては、これは三山園と馬込斎場の施設の土地、建物でございますが、記載のとおり26年度内の増減はございません。

次のページの2の物品でございますが、これは自動車と100万円以上の物品を記載しております。26年度内の増減は、平成16年度に購入しました事務局の事務連絡車が故障しまして11月に廃車したことから1台減となっております。なお、事務連絡車につきましては、27年6月1日に購入させていただいております。

最後に、28ページの3の基金、退職手当基金でございます。基金の25年度末残高は7,116万円で、26年度中の増減は1,294万円の増額でございます。この増減の内訳でございますが、増分といたしまして、1,500万円を基金に積み立てております。減分としまして、普通退職者3名分の退職手当支給のために206万円を取り崩しております。その結果、26年度末現在高は8,410万円でございます。

なお、下に記載しております基金でございますけれ

ども、この基金には出納整理期間がございません。基準日が3月31日現在となるため、定年退職者1名分の1,300万円は27年4月に支給されているため、この増減額に含まれておりませんが、1,300万円を差し引いた残額ということであると7,110万円となるものでございます。

以上が平成26年度四市複合事務組合の決算の説明でございます。

.....

○議長（伊東幹雄議員） これより質疑に入ります。

なお、質疑の際は、できるだけ決算書等のページを添えていただくとわかりやすいと思いますので、よろしく願いいたします。

質疑はありませんか。

清水晴一議員。

○11番（清水晴一議員） 決算書の19ページの11節需用費についてお伺いします。当初予算額が約1億1600万に対して支出額が1億300万ということで、約11%ほど不用額が生じております。額にして1288万5000円ほどです。この要因について1つお伺いしたいと思いません。

そして、これに関連して説明書の13ページなんですけれども、上のほうのコメントの中に、「火葬炉に自動温度調節設備を設置し、燃焼効率の向上と異常燃焼の防止を図る」という解説があります。新しい設備を入れて、どの程度燃焼効率が向上したのか。こころ辺をご説明いただければと思います。

○議長（伊東幹雄議員） 事務局長。

○事務局長（林田豊） 清水議員のご質問にお答えいたします。

まず、馬込斎場の燃料費につきましては、主に灯油とガスでございます。

灯油でございますけれども、25年度の決算額は3068万1000円でございます。それに対しまして、26年度の決算額は2581万9560円ということで、486万1440円の減額になっているということでございます。先ほど主要な施策のほうでお話しいたしましたけれども、減額の主な要因といたしましては、まず、増加する火葬件数に対応すべく火葬炉の負担を少なくするため、平成

25年度から26年度にかけては、燃料の温度を一定に保つ自動温度調節設備を全炉に設置したわけでございます。その設置に伴いまして、火葬炉への負担軽減が図られると同時に燃焼効率が向上したと。こちらは何かというの、私ども火葬件数とか、そういうものを全て分析してございませんので、その辺についてははっきりとお答えできませんけれども、燃焼効率が向上したために火葬にかかる使用量が、25年度が大人1人当たり26.9リットルに対しまして、26年度は22.9リットルと、4リットルほど減っているということでございます。25年度と比べまして、年間3万8000リットルの使用量の減量になっております。また、それと同時に単価も3.6円減少しております、それらを合わせて486万1440円ということになっております。

また、ガスでございますけれども、こちらにつきましても、25年度の決算額2204万4221円に対しまして、26年度の決算では逆に2547万7382円と、343万3161円増額しているということがございます。こちらにつきましては、周辺住民のほうから煙が出ているという苦情が出ておりましたので、対策としまして、再燃焼炉の温度を高温に維持するためにガスの量をふやしたということもございまして、25年度、大人1人当たり22.4立米を使用していましたけれども、26年度は25.8立米ということで、3.4立米増加しているということでございます。こちらにつきましても、単価のほうが立米当たり3.8円ふえていて、そちらの分でいきますと343万3161円増加しているという状況でございます。

○議長（伊東幹雄議員） 他に質疑ありませんか。

浦田委員。

○5番（浦田秀夫議員） 決算書の9ページで、先ほど三山園の利用負担金がふえたという報告があったんですけれども、その後もらった資料によりますと、平成26年度、死亡した方が28人ですかね。前年度から随分ふえていると思うんですけれども、これは死亡者が100人中28人ですから、かなりの割合で、何か特別な事情があったのか。そのことが利用料の見直しにつながっているのかということ。

それから、ショートステイについては、従来から利用率が低いのではないかという指摘があって、今回3

ポイントほどふえて71.5%ということで、いろいろと努力をなさったと思うんですけども、どんな努力なり理由があつてふえたのかということです。

それから、これは決算書に直接は関係ないんですけども、馬込斎場について、ことしの1月から1日の受け入れ件数を35件から40件にふやすということだったんですけども、実際、どの程度実績があつたのかということ。

それから、基本計画をいただいたので、さっと目を通したんですが、海に面しているということでもって津波、高潮、液状化が心配されるんです。津波については大丈夫だという指摘なんですけれども、高潮と液状化についてはそれぞれ被害が発生する可能性、危険性が高いという想定になってはいますが、これについて指摘はされているのに、どうするかというのが出てないんです。これから基本設計に入っていくと思うんですけども、どういう対策をしていくのかということについてお尋ねします。

○議長（伊東幹雄議員） 事務局長。

○事務局長（林田豊） まず、三山園の死亡された方、退所された方が26年度31件と、前年、その前と比べて非常に高くなっております。それだけ要介護度が高い方がいて亡くなったと思っております。どういう内容でという、私ども、そこまではちょっと押さえておりません。

それから、ショートのをふやしたという部分につきましては、受け入れするときに、亡くなってから受け入れまでの期間がどうしても長くなってきているということで、三山園は看取りをやっておりますので、看取りの中である程度見えてきたときに早目に声をかけるということを少しずつやってきた結果だと思っております。これから徐々にふやしていくような努力はしております。

○議長（伊東幹雄議員） 斎場長。

○斎場長（石井博行） それでは、馬込斎場の暫定的火葬受入件数増加計画に基づきます1月分の実績でございます。15時20分の火葬を行った日は16日間、全部で68件の火葬を行いました。細かく言いますと、マックスの40件を行ったのが11日、39件が1日、38件が2日、

37件が1日、36件が1日となります。合わせまして16日、68件となります。

それから、1月全体の火葬日数ですが、稼働日数が24日間、受け入れ件数は883件でございます。1日の平均の火葬件数が36.8件、約37件の火葬を行いました。

以上です。

○議長（伊東幹雄議員） 第2斎場整備室長。

○第2斎場整備室長（西正弘彦） それでは、基本計画のご質問についてお答えします。

基本計画では、高潮について今後検討していくということであつてありますけれども、今、基本設計をやっております、高潮については4.266メートルT.P.で、そこまで水位が上がるとなっていて、それ以上に地盤を高くしようということで考えておりました設計をしております。

それから、液状化対策については、今、基本設計の中で検討しております。今のところ基礎杭ですか。砂基礎と言うんですかね。それを今考えておまして、もうすぐ基本設計ができますので、またご説明したいと考えております。

以上です。

○議長（伊東幹雄議員） 他に質疑ありませんか。

渡辺ゆう子議員。

○3番（渡辺ゆう子議員） 私も幾つか伺いたいんですけども、まず斎場なんですけれども、2019年の10月供用開始のスケジュールどおりにということで、かなりタイトなスケジュールで苦勞されていると思うんです。また、建設場所の変更で今年度、26年度と本当に大変な努力がされたとは承知しております。

今、さまざまな業務を進めていただいているんですが、それが少しでもおくれ、スケジュールに大きな影響が出ると心配するわけですけども、1つは、決算書の21ページ、第2斎場整備費の委託料のところ、さまざまな契約が既に動いていて、その一覧も資料でいただきましたが、26年度に支出された分ですね。翌年度に送られている金額もあるわけですけども、26年度分というのでも発生しておりますけれども、この中で、設計については今継続中、交通量調査なども既に終えたというお話がありました。火葬炉の選定支援業務委

託も動いているわけですが、これが決まらな
いと、なかなか本体の建設のほうにも及んでいか
ないということで今進めていただいていると思
うんですが、26年度にこの決算の数字が出て
おりますけれども、当初計画していた26年度
中にやるべきこと。火葬炉の選定業務である
とか、習志野市さんのほうで都市計画の変更
をしていただくわけですが、それに伴った4
市の基本的な実務ですね。26年度中に予定
していたことがこの決算の中で予定どおり行
われたのかどうか、概要を伺いたと思います。

○議長（伊東幹雄議員） 第2斎場整備室長。

○第2斎場整備室長（西正弘彦） 支援業務
とかについては、当時、八千代市で計画して
いたときは26年度中ということだったんです
けれども、昨年8月に八千代市桑橋が中止に
なりまして、11月25日に新しい習志野市
の茜浜で計画地として始めたわけなんです
けれども、その時点での計画を見直して、基
本計画だとか基本設計、現在も予定どおり
進んでおるということで考えております。と
いうのは、26年度中に行うものを今年半
年ずれてやっております、支援業務につい
ては、8月21日に第2回の評価委員会を
開催して業者を選定する予定でございま
して、9月までには決定したものを公表
できるかなと思っております。

それから、先ほども出ておりますけれど
も、基本計画についても、若干おくれぎみ
ではあるものの、7月にホームページで
掲載して基本設計を今やっているところで
、今後、都市計画決定については習志野
市さんと十分協議をした上で、今のところ
平成28年の秋ごろには決定していきたい
ということで協議が進んでおりますので
、ほぼ予定どおり進んでいるかと考えて
おります。

以上です。

○議長（伊東幹雄議員） 渡辺ゆう子議員。

○3番（渡辺ゆう子議員） 炉の選定につ
いては、建設場所が変わったことで見直
しが必要だったのかどうか伺っておき
たいんです。

○議長（伊東幹雄議員） 第2斎場整備室長。

○第2斎場整備室長（西正弘彦） 炉の
選定につきましては、建物の基本計画、
基本設計がある程度見えてこ

ないと炉の決定をできないと考えてお
りましたので、そこら辺が若干延びた
ことから、26年にやらないで27年
まで持ち越したと考えております。

○議長（伊東幹雄議員） 渡辺ゆう子議員。

○3番（渡辺ゆう子議員） 第2斎場の
件は本当にご苦労が多いことかと思
いますけれども、順調にいくようによ
ろしくお願ひしたいと思います。

それでは、説明の中で幾つか疑問に
思ったことがありますので、三山園の
ほうで伺っていきます。人件費です
けれども、15ページの民生費の老人
福祉総務費のところに職員、非常勤
、それから委託のほうですかね。派
遣料が出ておりますけれども、退職
者が出て補充のために募集を行った
ということ、退職者を埋めることが
できなくて派遣職員を入れたとい
うことで、資料をいただいたところ
によりますと、必要人員の常勤換
算で34人を満たすように手だてを
されたということなんですけれど
も、募集したにもかかわらず採用
できなかったということ、資料では
埋めたことになっているんですが
、埋め切れなかった日数という
ものはあったのでしょうか。人員
が足りないまま進めていた期間
というのがあったのかどうか
確認したいんですが。

○議長（伊東幹雄議員） 事務局長。

○事務局長（林田豊） 足らなかつた
期間はあったのかというご質問
ですが、基本的に介護報酬上、3
対1の介護職員を配置すること
になっておりますので、そういう
事態にはなっておりません。要
するに入所しているそのときの
人数の中での3対1は達成して
おりました。

○議長（伊東幹雄議員） 渡辺ゆう子議員。

○3番（渡辺ゆう子議員） 続けて
人のことで伺いたいんですが、
介護職員の方、今、人も不足
しているということで問題にな
っておりますけれども、定期的
に募集をしておりますが、こ
のように埋め切れないときも
あるということで、おやめにな
る方が多いのかなと思いま
した。常勤の正職員の方と非
常勤職員の方でそれぞれ勤続
年数の平均を教えてください
ょうか。

○議長（伊東幹雄議員） 三山園長。

○三山園長（兼子典久） それでは、
お答えします。

三山園では、平成27年8月1日現在、職員全員で61人います。正職員は36人、平均勤務年数は11年10カ月で、そのうち介護職員が21人、平均勤務年数は10年となります。また、再任用、臨時職員を含めた非常勤職員は25人で、平均勤務年数は5年5カ月。そのうち介護職員が21人、平均勤務年数は4年7カ月となります。非常勤職員の定着率については、転職、親の介護、家事などの理由により離職される方もおりますが、採用時の年齢もあり、体力的な事情などによって離職される方も少なくありません。職員の定着については、勤務しやすいやりのある職場を目指し、職員一体となって検討していきたいと考えているところです。

○議長（伊東幹雄議員） 渡辺ゆう子議員。

○3番（渡辺ゆう子議員） 常勤の方、特に介護職の方ですね。前に伺ったとき、もうちょっと勤続年数が短かったかなと思うんですが、常勤の職員で比較的労働条件が恵まれていても、長期に継続して勤務いただくことが難しい現状があるなど受けとめました。また、さらに非常勤の方では、長期に勤めていただくのに困難がある現状なんだなということでは思っております。

収入のほうで、12ページ、雑入のところでは自動車損害共済災害共済金その他とあります。これが何かと伺いまして、送迎車の車両の自損事故の3件の入金があったということでした。事故が全くないほうがいいにこしたことはありませんけれども、多少の事故というのは起きててもやむを得ない場合もあるのかもしれませんが、居宅からの送迎ということでは、生活道路の狭いところを通行する、そういう日常の業務だと思いますので、安全運転への努力が必要なのではないかと、この報告、決算の数字で思ったわけですが、安全運転への教育というか、そういう対策はやられているのでしょうか。

○議長（伊東幹雄議員） 三山園長。

○三山園長（兼子典久） 26年度は、いずれもデイサービスの送迎によって発生した3件の事故がございます。大きな車で送迎するというのもありまして、狭い道ですので難しいところはあると思うんですが、特に方向転換など、バックをする際は同乗者が車両からおりて後方確認することを徹底している。それから、

先ほども研修ということをおっしゃっておられましたが、毎年、安全運転管理者向けの講習がありまして、それを受けた者が毎朝の朝礼等で安全運転を心がけるように指導しているところでございます。

以上です。

○議長（伊東幹雄議員） 渡辺ゆう子議員。

○3番（渡辺ゆう子議員） 大変狭隘な道路を大きな送迎車でということでご苦労されていると思います。また、他の仕事との兼務でやられるということのご苦労も多いかと思っておりますので、研修の時間をきちんと確保していただいて、支障なく業務に臨めるように体制を整えていただきたいと要望しておきたいと思っております。

それから、今回、決算書とか説明資料、いただいたものを見せていただいているいろいろ把握しようと努めたんですが、なかなかその実態が見えてこないということを感じまして、特に職員の状況が全く載っておりません。以前載っていたように思ったんですけれども、それぞれの職員の配置状況、決算に対応する職員の状況はぜひ載せていただきたいと思っておりますので、それは求めておきたいと思っております。

以上です。

○議長（伊東幹雄議員） 他に質疑ありませんか。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（伊東幹雄議員） 質疑なしと認めます。

よって、質疑を終結します。

.....

○議長（伊東幹雄議員） これより討論に入ります。

討論ありませんか。

渡辺ゆう子議員。

○3番（渡辺ゆう子議員） 討論させていただきます。

衛生費に関しては、26年度は八千代市内への第2斎場計画を中止せざるを得ない中、習志野市への計画が進み、2019年度供用開始の計画を軌道に乗せるという困難な事業に多大な努力が払われたことを評価するものです。しかし、建設地の変更や現地の都市計画変更にかかわって時間がかかることなどで使用開始までのスケジュールは厳しくなっているところです。馬込斎場の現状から、第2斎場建設の期限内の達成は譲れない課題です。近隣企業からの理解を得ることや交通対策

等々、課題は山積しており、一層の努力をお願いするものです。また、馬込斎場周辺の引き続きの交通対策にも力を入れていただきたいと要望しておきます。

民生費に関してですが、貴重な公立、また直営の介護施設ということで、4市の住民の皆さんの期待に応えていくためには、個人の尊厳が守られたよりよい施設の運営が期待されているところです。そのために手厚い職員配置と職員の労働条件改善が欠かせません。退職者が多く出るということは、子育てなどで勤続を断念せざるを得ないという方も出ているところで、労働条件のさらなる改善が求められると感じております。現行の介護保険制度のもとでは、そのための十分な財源確保が困難なことは明らかです。施設運営に係る市の負担金を繰り入れることなど、検討が必要ではないか。この意見を付して認定の討論といたします。

以上です。

○議長（伊東幹雄議員） 他に討論ありませんか。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（伊東幹雄議員） 討論なしと認めます。

よって、討論を終結します。

.....

○議長（伊東幹雄議員） これより採決に入ります。

本件を認定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（伊東幹雄議員） 起立全員であります。

よって、本件は認定することに決しました。

○議長（伊東幹雄議員） 日程第3、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員につまがり俊明議員及び塚本路明議員を指名します。

○議長（伊東幹雄議員） 以上で、本定例会の会議に付された事件の審議は全部終了いたしました。

○議長（伊東幹雄議員） これをもちまして、平成27年四市複合事務組合議会第2回定例会を閉会いたします。

午後2時52分閉会

〔出席者〕

◇出席議員（12人）

議 長	伊 東 幹 雄
副議長	関 桂 次
議 員	清 水 聖 士
	松 澤 武 人
	渡 辺 ゆう子
	つまがり 俊 明
	浦 田 秀 夫
	斉 藤 誠
	塚 本 路 明
	秋 葉 就 一
	清 水 晴 一
	宮 本 泰 介

.....

◇説明のため出席した者

管 理 者	松 戸 徹
副 管 理 者	黒 田 忠 司
会 計 管 理 者	泉 對 弘 志
事 務 局 長	林 田 豊
第2斎場整備室長	西 正 弘 彦
三 山 園 長	兼 子 典 久
斎 場 長	石 井 博 行
代 表 監 査 委 員	中 村 章

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

四市複合事務組合議会議長	伊 東 幹 雄
四市複合事務組合議会議員	つまがり 俊 明
四市複合事務組合議会議員	塚 本 路 明